

質問要旨 町会灯の調査に関するアンケートについて、送付した具体的な団体名と送付数、また、アンケート内容について教えてほしい。

答弁要旨

今回の町会灯の調査に伴うアンケートの送付については、市内すべての単位福祉協会 594 団体を対象としています。

アンケートでは、各団体が維持管理されている灯具の種類と基数、および電気料金の請求書の写しの提供を求めており、また、設置位置がわかる場合は、その位置図もいただけるよう、お願いをしているところであります。

以上

質問要旨 現時点でのアンケートの回収状況はどうなっているのか。また、問い合わせ状況など、アンケートに対してこういった反響があるのか教えてほしい。

答弁要旨

アンケートの回答期限を来年1月末にしている中で、12月7日の時点で135の団体から回答をいただいております。

また、各団体からの問い合わせについてですが、どの程度まで回答すればいいのかといったものから、設置状況や電気料金の支払い状況まで必要なのかや、町会灯の費用を市が負担や助成をしてくれるのか、など様々なご意見が寄せられています。

市といたしましては、団体にご負担をかけることのないような調査内容にしておりますが、アンケートで把握できないものについては、市の方で改めて調査を実施する予定にしています。

以上

質問要旨 調査の結果をもとに、地域団体に寄り添った制度を前向きに検討してもらいたいが市の見解はどうか。

答弁要旨

町会灯の維持管理に切実な課題がある状況については、市としても把握しており、調査の結果を踏まえて、例えば、私道であっても普段から不特定多数の方が通行されているものや、小中学校の通学路となっているような、公益性が高く、公道を補完するような私道に設置されている町会灯に対して、助成や補助の対象にできないかといったことも含めて、検討を進めていきたいと考えております。

以上

質問要旨 コロナ禍において、市内産米の流通・消費
状況に影響はあるか。

答弁要旨

令和元年度の市内産米につきましては約175トンの生産量があり、このうち約23トンがJAへ出荷されました。

そのうち7トンがコロナの影響により飲食店への販売がストップいたしましたが、直売所等で一般消費者へ販売できたため影響はございませんでした。

令和2年度産米につきましては、生産量は現在調査中でございますが約16トンがJAへ出荷されました。

昨年度と比較して減少しておりますのは虫害が原因であり、コロナの影響ではございません。

また、飲食店との取引量は減少しておりますが、今年度、学校給食への供給と一般消費者への販売が予定されておりますことから影響はないと思われま

以上

(教育次長答弁)

辻議員 1005

作成部局 教育委員会 No.1

質問要旨 中学校給食への市内産米の活用について、その後の検討状況は。また、関係者との意見交換を踏まえた活用の可能性について、市の見解は。

答弁要旨

市内産米活用の検討状況につきましては、関係者と意見交換を行いましたところ、学校給食に供給できる市内産米の量は、収穫量などにより毎年変動いたしますが、小・中学校等の学校給食で使用する場合、年1、2回程度しか供給出来ないということでした。

市内産米を活用するには、学校給食に必要な量を安価で供給していただく必要があることから、学校給食に供給可能な量を把握し、関係者と調整などを行ったうえで、小学校給食を含めた学校給食全体で、検討していく必要があると考えております。

以上

質問要旨 廃棄物処理にかかる農業者のニーズの把握
やサポートの手法の検討について状況はどうか。

答弁要旨

現在、農業者からのニーズの把握に努めており、農業者からは、野焼きなど都市農業特有の営農環境に苦慮しているというご意見や、農業者自身の農業経営方針に合致する肥料等を自由に選択したいというご意見などをお聞きしております。

そのため、来年度からは、現行の品目を限定した現物配布による支援から、廃棄物処理も含めた複数の補助メニューから各農業者が希望するメニューを選択する補助制度に変更する予定でございます。

以上

質問要旨 今年の市内でのひったくりの発生状況はどのようにになっているのか。また、発生状況についての認識はどうか。

答弁要旨

令和2年のひったくり認知件数は、11月末時点の速報値で35件と、前年の同月と比較し、2件少ないものの、同程度で推移しております。

また、今年は、バイクを使用した市域をまたぐ連続犯による犯行が複数回発生しており、これらの犯人については、すでに逮捕されているところですが、類似した犯行が起こった場合は、市民の安全を守るために、直ちに対策を取る必要があると認識しております。

以上

質問要旨 平成25年以降、本市と近隣他都市ではひったくり認知件数の傾向に違いはあるのか。

答弁要旨

本市のひったくり認知件数につきましては、平成25年からひったくり対策に取り組んだ結果、平成24年に258件あったものが、令和元年には38件まで減少するなど、本市の減少数は県下で1番多い数字となっております。

しかしながら、潜在的に本市でひったくりが発生しやすい要因としましては、街頭犯罪が周辺で起こりやすいとされている鉄道駅が13箇所あることや、市域全体が市街地化されており、昼夜を問わず人の往来が多いことから、犯人が被害者を狙いやすい傾向にあることが上げられます。

また、本市が県境に位置し、尼崎市でひったくりを行った犯人が大阪市に逃走するなど、府県で警察の管轄が異なることも、犯行を助長する一因になっていると考えております。

以上

質問要旨 市内でのひったくりの連続発生を受け、年末年始に本市が重点的に取り組むことはあるのか。

答弁要旨

年末にかけては、ひったくりなどを始めとする街頭犯罪が発生しやすい時期であることから、これらを抑止し、市民に体感治安を感じてもらう目的で、職員による防犯パトロールを、大晦日まで土日も含め毎日実施してまいります。

また、来年に向けては、本市や近隣市のひったくりの発生状況を踏まえ、市域の北部と東部に可動式防犯カメラを集中して移設するなど、対策を強化してまいります。

以上

(教育次長答弁)

辻議員 2004 作成部局 教育委員会 No.1

質問要旨 コロナ禍における市内での聖火リレーの実施
に関連して、どのような取組を検討しているのか。

答弁要旨

来年の新たな聖火リレーにつきましては、9月28日に組織委員会から概要が発表され、日程については従前のスケジュールの1日前倒しとすることや、聖火ランナーについては既に決定したランナーを優先することなどが示されております。

本市の聖火リレーにつきましては、スタート地点やゴール地点での本市独自の盛り上げ策も含めて、当初に予定しておりました内容を基本に実施したいと考えておりますが、今後、組織委員会から示される新型コロナウイルス対策のガイドラインなどを踏まえながら、具体的な内容を決定してまいります。

以上

質問要旨 「お知り合い避難」や「在宅避難」について、市ホームページ以外で情報提供や啓発等をおこなっているのか。

答弁要旨

「お知り合い避難」や「在宅避難」といった多様な避難行動については、市ホームページや市報あまがさきによる広報に加え、災害時における避難行動の判断フローを記したチラシを作成し、社会福祉協議会各支部の常任理事会の席にて周知するとともに、地域での情報伝達の仕組みづくりを進める中で、民生・児童委員の皆さまへ直接説明を行っています。

また、自主防災会が主催する防災訓練や、市政出前講座等の機会を捉えた啓発にも取り組んでいるところで

以上

質問要旨 現在の避難対策について十分か。また、十分でないのであれば、どのような課題を認識し、今後、どのような取組を考えているのか。

答弁要旨

今年には台風が日本に上陸しなかったこともあり、コロナ禍の中、感染対策として有効であるとされている「お知り合い避難」や「在宅避難」については、まだまだ市民に周知が行き届いていないと認識しているところです。

また、ローリングストックといった効果的な備蓄方法についても周知に努めておりますが、市民の認知度は十分ではないと感じています。

こうした状況を踏まえ、市民一人ひとりの行動変容に繋がる強い呼びかけが必要であると考えており、市民の災害に対する意識が高まる出水期前に意識啓発を行うなど、効果的な啓発手法を検討し、取り組んでまいります。

以上